

## 2017 74Daijuro クラス車輛規則

### 参加車輛について

参加車輛はデルタ・エンタープライズ製「スーパーミニバイク 74Daijuro」です。

ライダーの装備重量（ヘルメットなど装備込みの体重）が35kg以上の場合はデルタ・エンタープライズ製・ハーフ・エンジン（50cc）の使用が認められます。その際レザースーツなどの装備におもりを取り付けて重量を増加させることは認められません。

### 部品交換について

オプションパーツを含めデルタ・エンタープライズが販売している部品の交換は認められます。

### 部品変更について

次の部品については変更が認められます。

#### 【エンジン関係】

- ・キャブレターのメインジェット
  - ・エキスパートクラスは15φOPキャブレターの使用が認められる。
  - ・バンビーノクラス、フレッシュマンクラスは、新車に標準装備の13φキャブレターに限る。
- ※2017年より新車には13φキャブレターが採用されています。フレーム No,1006以降

#### 【車体関係】

- ・スプロケット及びチェーン・ハンドル、グリップ・ステップ・クロスメンバースタットボルトへのワッシャー・カラー追加（3mm以内）

#### 【その他全般】

- ・ボルト・ナット類（ただしアルミ製およびチタン製は使用できません）
- 上記以外の部品については、変更・追加・取り外し・加工（切る・貼る・削る）など一切認められません。
- 判断が難しい場合にはあらかじめ主催者に確認することをおすすめします。

### ゼッケンについて

レースで使用するゼッケンは黒ベース白文字でフロントカウルの中央に取り付けてください。字体はゴシック体を推奨し、これに近似した字体のみ使用できます。

### その他

磨耗限度を越えたタイヤの使用、使用限度を超えた部品の使用、安全なスペースを確保できないハンドル角度、突起物など主催者が危険と判断した状態のまま走行することはできません。

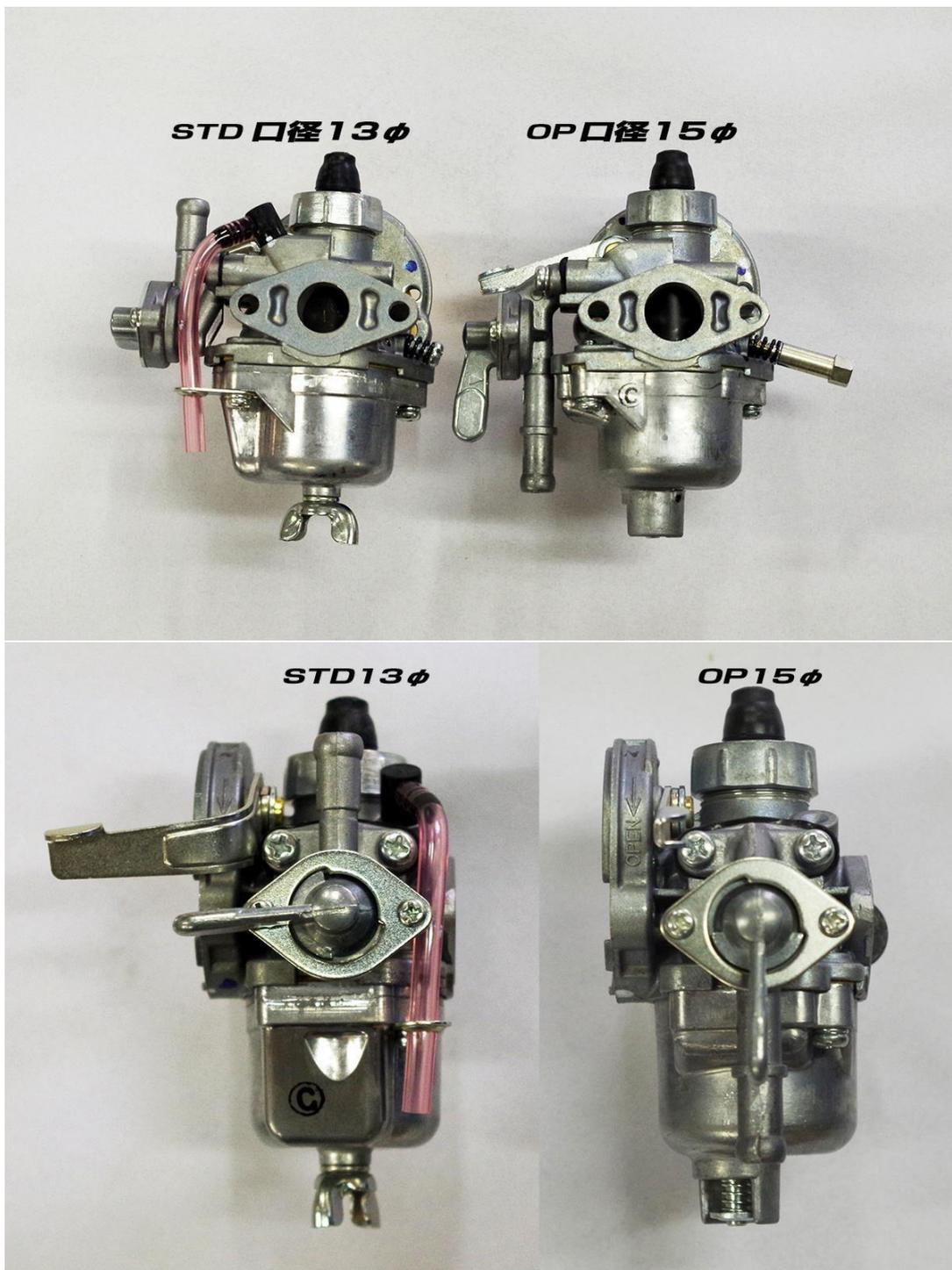
※車輛規則に違反した場合のペナルティーおよび主催者の権限については各主催者が定める大会規則に準じます。

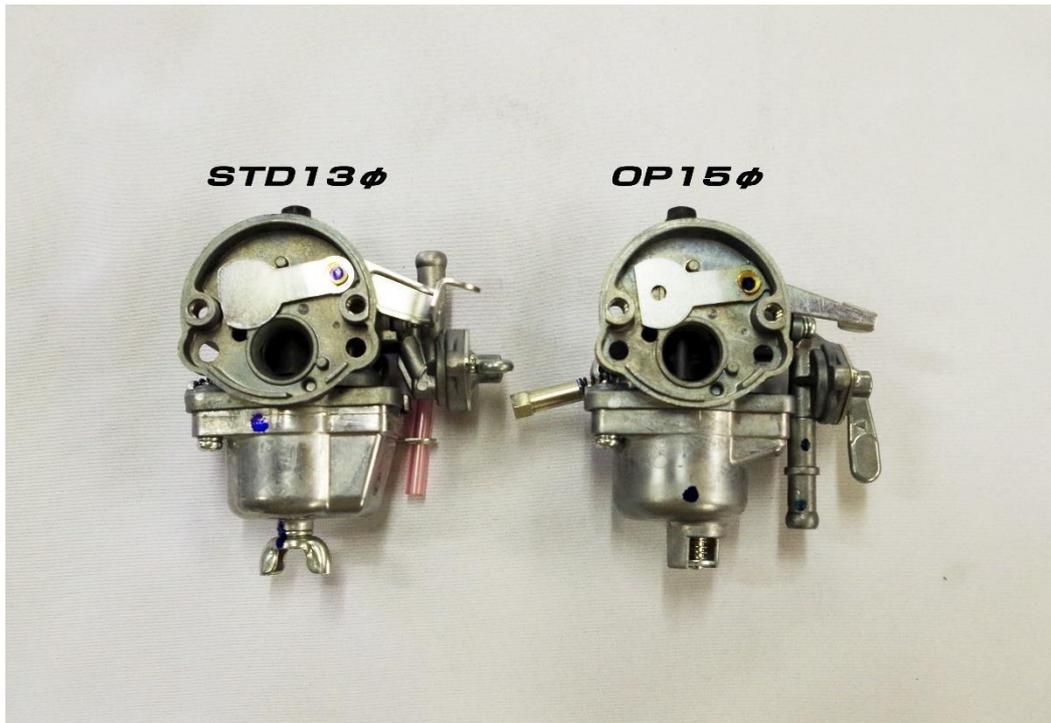
[⇒キャブレター使用制限のお知らせ（2017.02.05）](#)

## 74Daijiri ユーザーの皆様へ重要なお知らせ

### [⇒キャブレター使用制限のお知らせ \(2017. 02. 05\)](#)

2017 年より 74Daijiri 新車時のキャブレターが変更になりました。今までの口径 15φ から、口径 13φ になりました。15φ のキャブレターはオプションパーツとなり、今後も入手可能です。





---

<DAIJIRO CUP 車両規則について>このたびの変更を受けまして、DAIJIRO CUP では車両規則に追記し、規定タイムのある「バンビーノクラス」「フレッシュマンクラス」については STD 仕様となる 13φ キャブレターのみに制限され、規定タイムの無い 74Daijuro (エキスパート) クラスではオプションパーツの 15φ キャブレターの使用が認められます。

#### [2017 年 74Daijuro クラス車両規則](#)

現在 15φ キャブレターをお持ちのお客様には誠に恐縮ですが、なにとぞご理解いただきますようお願いいたします。

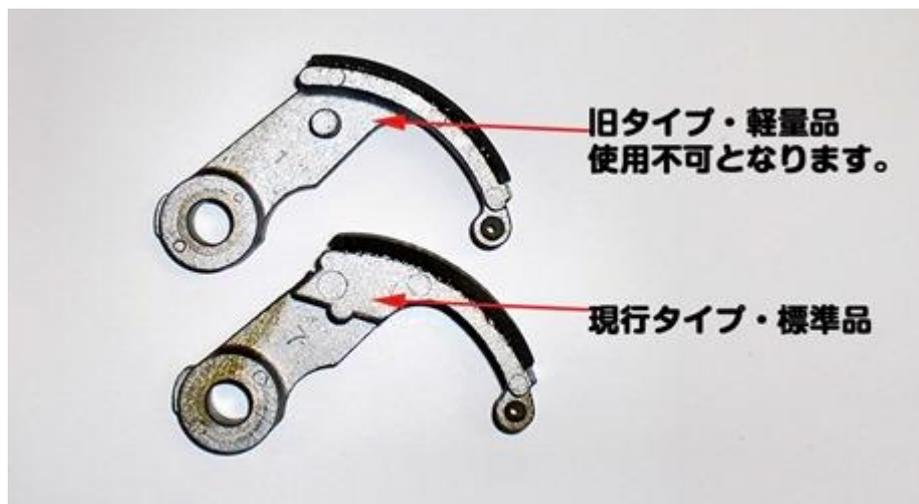
※2017 大治郎カップ開幕までの期間、15φ 仕様の 74Daijuro をお持ちのユーザー様には、13φ キャブレターを割引価格で販売させていただきます。その際には車両に記載されているフレームナンバーをお知らせ下さい。

※DAIJIRO CUP 以外の 74Daijuro 車両規則につきましては各イベント主催者にご確認ください。

## 74Daijiro ユーザーの皆様へ重要なお知らせ 18, 1, 1

74Daijiro に使用されていた、旧タイプのクラッチシュー（画像参照）を公認パーツから除外する事となりました。

デルタ・エンタープライズが取り扱いをやめてから一定期間が経ち、誰もが入手できない状態となったことから、2018 年度 Daijiro-CUP 開幕戦から、旧タイプのクラッチシュー（画像参照）は、使用できない事となります。



### <DAIJIRO CUP 車両規則について>

今回の変更について DAIJIRO-CUP の車両規則に変更はありませんが、旧クラッチは公認パーツではなくなる為、2018 年度より DAIJIRO-CUP で使用することは出来ません。

※DAIJIRO CUP 以外の 74Daijiro 車両規則につきましては各イベント主催者にご確認ください。

74Daijiro クラス 2019 年よりマキタ製シリンダーのみ使用可